

第9回 関川・姫川大規模氾濫に関する減災対策協議会 開催概要

関川・姫川流域では、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨での大規模な氾濫被害を踏まえ、地域全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するための「関川・姫川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催しています。

令和4年4月に開催した「第9回協議会」では、小中高校生へのマイ・タイムラインの出前講座、キキクル(危険度分布)の改善、河川内の伐木、河道掘削の取組報告や、前回協議会以降の新たな取組として、防災SNSによる情報発信、水害リスクマップに関する提案について意見交換を行いました。

なお、本会議はコロナウイルス感染拡大防止の観点からWeb会議による開催としました。

開催概要

■日時 令和4年4月27日 11:00～12:00
(コロナウイルス感染拡大防止の観点からWeb会議による開催)

■出席者

<構成機関>

高田河川国道事務所、上越市、糸魚川市、妙高市、
新潟県上越地域振興局地域整備部、新潟県糸魚川地域振興局地域整備部、
気象庁新潟地方気象台、上越地域消防局

<オブザーバー>

新潟県上越地域振興局農林振興部
中部電力株式会社再生可能エネルギーカンパニー長野水力センター
えちごトキめき鉄道株式会社〔欠席〕
北越急行株式会社〔欠席〕



第9回 減災対策協議会 本会開催概要の様子

議事内容

- 事務局挨拶:高田河川国道事務所 堀事務所長
- 各機関の取り組み状況及び新たな取組の提案について
 - 関川・姫川地域の減災に係わる取組概要と各機関の取り組み状況
 - 今後の進め方について
- 前回協議会以降の新規トピックス等について
 - 新たな取組方針の提案(防災SNSによる情報発信)
 - 水害リスクマップの公表について
- 意見交換
 - 【事務局】糸魚川市の取組である防災リーダー研修を毎年開催されておりますが、防災リーダーは各地域に配置している状況でしょうか。
【糸魚川市】防災リーダーは各地域に1名以上おり、防災士がいない場合は、自治会役員が防災リーダーを兼務し研修に参加している。
 - 【事務局】今年度末までに「流域タイムライン」を策定したいと考えている。
策定に向けて、各機関に協力をお願いしたい。
【気象庁新潟地方気象台】「流域タイムライン」を策定するための具体的なスケジュールを教えてください。
 - 【事務局】今年度末策定を目標に、約1年間のスケジュールで考えて頂きたい。

以上